Adobe Creative Cloud 教育機関向け 共有デバイスライセンス 移行ガイド [2019年9月版]

Adobe

教育機関向けライセンスについて

アドビバリューインセンティブプラン (VIP) の概要

VIPの詳細について

ライセンスの概要や契約期間 の詳細については、以下のガ イドでも確認できます。 ▼**アドビVIPプログラム**

ガイド (PDF)

https://www.adobe.com/ content/dam/acom/jp/ buying-programs/pdfs/vipprogram-guide-ed-jp.pdf アドビバリューインセンティブプラン (VIP) は、アドビ Creative Cloudを はじめとする多彩なアプリケーションを手軽に導入・管理できるサブスク リプションライセンスプログラムです。契約は12ヶ月間の前払いを基本 として、最長60ヶ月まで延長可能。購入ライセンス数に合わせてディス カウントも適用されます。さらに、煩雑になりがちな管理作業からデバイ スへのデプロイ (インストール)、セキュリティ設定までをWebツールの 「Admin Console」で一元的に管理できるので、担当者の負担を大幅に削 減できます。

ライセンスの種類

本マニュアルについて

本マニュアルで説明するの は、教育機関向けの共有デバ イスライセンスとなります。 教育機関向けVIPライセンスは大きく3つのタイプがあり、さらに対象別 に分かれます。各ライセンスの最小購入数と追加購入可能数は以下の表を、 詳細は次ページ以降を確認してください。

●教育機関向けライセンスの種類と特徴

新/旧	名称・タイプ	対象	提供プログラム	利用可能なアプリケー ションのバージョン	最小購入数	追加購入 可能数	詳細
		小中高校	グループ版		50台~	50台~	→P.3
旧 デバイス ライセンス	デバイス ライセンス	教育委員会		Creative Cloud 2018 まで	500台~	500台~	
		高等教育機関			1台~	1台~	
	小中高校		Creative Claud 2010	50台~	50台~		
新	共有ナハ1人 ライヤンス	教育委員会	エンタープライズ版	Creative Cloud 2019 以降	500台~	500台~	\rightarrow P.4
	51057	高等教育機関		以降	1台~	1台~	
	ユーザー指定 ライセンス	小中高校	エンタープライズ版		250 ユーザー〜	250 ユーザー〜	
新		教育委員会	エンタープライズ版	すべてのバージョン	2,500 ユーザー〜	2,500 ユーザー〜	→P.5
		高等教育機関	グ ル ー プ 版 / エ ン タープライズ版		1ユーザー ~	1ユーザー ~	

デバイスライセンス(旧ライセンス)の特徴

デバイスライセンスはCreative Cloud 2018までのアプリケーションを利用 できるライセンスで、コンピュータールームなどにある特定のデバイス(コ ンピューター)に対してライセンス認証が行われます。ユーザーはログイ ン時にIDやパスワードの入力は必要ありません。ただし下図の通り、ライ センス認証されていないコンピューターでは利用できません。

●ライセンスの種類

小中高校向け、教育委員会向け、高等教育機関向けがあり、契約時に決 定します。小中高校向けの購入資格については、以下を確認してください。 ▼初等および中等教育機関の購入資格のガイドライン

https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/using/primary-and-secondary-institution-eligibility-guidelines.html

●ライセンスの必要システム構成

デバイスライセンスの必要システム構成は以下の通りです。

- ・マシンのメモリ:4~8GB
- 対応OS: Windows 10 (ビルド 1507 は除く)、Windows 8.1、Windows 7 (SP1 移行)、Mac OS X (10.12 移行)
- ・利用できるアプリケーション: Creative Cloudのバージョン 2018 まで
- ・ユーザー IDの割り当てと管理:不要
- ・利用できるクラウドサービス:なし



クラウドサービスについて

デバイスライセンスはユー ザーIDに紐付いたフォントサー ビスなどのクラウドサービスは 利用できません。



共有デバイスライセンス (新ライセンス) の特徴

共有デバイスライ センスは Windows 8.1 に 対応していません。デバ イスライセンスからの移 行が必要な場合は、新し いコンピューターの導入 も検討してください。

クラウドサービスについて

右の本文にある「クラウドサー ビス」は、本ガイドではアド ビのユーザー IDを持つ人すべ てに無償で提供されるサービ スを指します。詳細は、以下 を参照してください。

▼Creative Cloud 無償 メンバーシップのメリット

https://helpx.adobe.com/ jp/creative-cloud/help/ benefits-creative-cloudfree-membership.html

▼Creative Cloudの必要 システム構成(デスク

トップアプリケーション) https://helpx.adobe.com/ jp/creative-cloud/systemrequirements.html 共有デバイスライセンスは原則Creative Cloud 2019以降のアプリケーショ ンを利用できるライセンスで、コンピュータールームなどにある特定のデ バイス (コンピューター)に対してライセンス認証が行われます。ユーザー は、ユーザー IDとパスワードを入力してログインしてから、そのコンピュー ターを利用します。なお、ライセンス認証されていない学外などのコン ピューターでは利用できません。

●ライセンスの種類

小中高校向け、教育委員会向け、高等教育機関向けがあり、契約時に決定 します。小中高校向けの購入資格については、以下を確認してください。 ▼初等および中等教育機関の購入資格のガイドライン

https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/using/primary-and-secondary-institution-eligibility-guidelines.html

●ライセンスの必要システム構成

共有デバイスライセンスの必要システム構成は、以下の通りです。

- ・利用できるアプリケーション:Creative Cloudのバージョン2019以降(例外あり)
- ※ Creative Cloud 2019 アプリケーションは、Windows 7、Windows 10 以降、 および macOS Sierra 10.12 以降で使用できます。Digital Video 製品の 2019 バージョンには、Windows 10 および macOS Sierra 以降の最新バー ジョンが必要です。Windows 8.1 または初期の Windows 10 バージョン はサポートされません。
- ※Creative Cloud アプリケーションごとの詳細については、Creative Cloud 必要システム構成を参照してください。
- ・ インターネット常時接続環境:必要
- ・ユーザー IDの割り当てと管理:必要
- ・利用できるクラウドサービス:Adobe Fonts、Creative Cloud ストレージ 2GB他

※無償メンバーシップ同等レベル



ユーザー指定ライセンスの特徴

ユーザー指定ライセンスはデバイス(コンピューター)ではなく、ユーザー 1人ずつに対してライセンスが割り当てられます。学校だけではなく自宅 のコンピューターなどでも同じアプリケーションを使用できるほか、 Creative Cloud 製品の全バージョンが利用できます。

●ライセンスの種類

小中高校向け、教育委員会向け、高等教育機関向けがあり、契約時に決定 します。小中高校向けの購入資格については、以下を確認してください。 ▼初等および中等教育機関の購入資格のガイドライン

https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/using/primary-and-secondary-institution-eligibility-guidelines.html

●ライセンスの必要システム構成

ユーザー指定ライセンスの必要システム構成は、以下の通りです。

- 利用できるアプリケーション: Creative Cloudの提供されている全バー ジョン
- ※ Creative Cloud アプリケーションごとの詳細については、Creative Cloud 必要システム構成を参照してください。
- ・ユーザー IDの割り当てと管理:必要
- 利用できるクラウドサービス: Adobe Fonts、Creative Cloud ストレージ
 2GB(小中高校向け、教育委員会向けライセンス)または100GB(高等 教育機関向けライセンス)他

ID別のCreative Cloud ストレージ容量について

学生ユーザーの年齢が13歳未 満の場合、または13歳を超え ていても学生が小中高校向 け、教育委員会向けライセン スを付与されている場合は、 ユーザー IDとして、Adobe IDは使用できず、IDをEnter prise IDまたはFederated IDに する必要があります。この小 中高校向け、教育委員会向け ライセンスでは、Creative Cloud ストレージの容量が 2GBまでに制限されています。



デバイスライセンスの移行準備

ライセンス移行の流れ

ライセンスの移行で
 使用する Admin Console
 は、Internet Explorer 9以
 前の Web ブラウザーには
 対応していません。詳し
 くは、STEP 03の側注を
 参照してください。

共有デバイスライセンスに移行した後は、元の デバイスライセンスに戻すことはできません。 本ガイドでは、デバイスライセンスから共有デバイスライセンスへの移行 作業を、以下の流れで説明します。ライセンスの移行自体はAdmin Consoleにより数分~数十分で完了しますが、移行後のスムーズな運用・ 管理のためにも、事前の計画をしっかり立てておきましょう。 なお、Admin Consoleで移行作業を開始したら、30日以内にすべての作 業を完了させます。



移行環境の整備

デバイスライセンスと共有デバイスライセンスのシステム構成の比較は、 下表の通りです。使用できるCreative Cloudのバージョンが異なるため、 移行前の環境で作成したファイルが使えないことがないよう、ユーザーへ の周知も必要になります。

●システム構成の比較

	マシンのメモリ	対応OS	対応アプリケーション
		Windows 10(ビルド 1507 は除く)	
デバイス	1 a . 9 C P	Windows 8.1	Creative Cloudのバージョン
ライセンス	4, 00B	Windows 7(SP1以降)	2018 まで
		Mac OS X(10.12 以降)	
		Windows 10(ビルド 1703 以降)	
共有ナハイス	8GB	Windows 7(SP1以降)	Creative Cloud のハーション 2019 以路※
		Mac OS X(10.12 以降)	2017 以件

※ Creative Cloud 2019 アプリケーションは、Windows 7、Windows 10 以降、および macOS Sierra 10.12 以降で使用できます。Digital Video 製品の 2019 バージョンには、Windows 10 および macOS Sierra 以降の最新バージョンが必要です。Windows 8.1 または初期の Windows 10 バージョンはサポートされません。

※ Creative Cloud アプリケーションごとの詳細については、Creative Cloud 必要システム構成を参照してください。

ユーザー IDの検討と作成

●誰が作成・管理を行うかを決めておく

共有デバイスライセンスでは、ユーザー IDの割り当てが必須となります。 ユーザー IDには以下の3タイプがありますが、ID作成者や所属、セキュ リティ強度、別途設備の要/不要が異なります。ライセンス移行後の混乱 を避けるためにも、事前に準備しておきましょう。

Adobe ID

アドビ製品を利用するための一般的なIDです。IDの作成やパスワード管 理の担当、所属先はユーザー自身となり、ログイン時の認証はアドビが行 います。Admin Consoleにて共有デバイスライセンスの管理を行う「シス テム管理者」は、Adobe IDが必要です。また、13歳未満のユーザーは Adobe IDを使用できないため、次の「Enterprise ID」「Federated ID」の どちらかを利用します。

Enterprise ID

学校などの組織ドメイン(メールアドレスの@の後ろに続く文字列)が付いたメールアドレスで使用できるIDです。IDの作成やパスワード管理の担当、所属先は学校側となり、ログイン時の認証はアドビが行います。ID 管理用の追加設備は不要ですが、作成前にドメインクレーム(承認申請)が必要になるため、サーバー管理者と連携した事前準備が必要です。

Federated ID

学校などの組織ドメイン(メールアドレスの@の後ろに続く文字列)が付いたメールアドレスで使用できるIDです。IDの作成やパスワード管理の 担当、所属先は学校側となり、ログイン時の認証も、学校など組織側の認 証基盤で行います。ユーザーの認証や、使用アプリケーション/サービス を厳格に管理したい場合に最適ですが、認証基盤の整備とドメインクレー ム(承認申請)が必要です。

●ユーザー ID ごとの特徴

		Adobe ID	Enterprise ID	Federated ID	
ユーザー認証方法		アドビでの認証	アドビでの認証	連携させた認証基盤での認証	
	設定/変更	ユーザー自身が行う	ユーザー自身が行う	認証基盤が行う	
7,2,9=5	強度	Adobe ID に準拠	Admin Console で設定	認証基盤による	
	学校側による作成	0	0	0	
	ユーザーによる作成	0	×	×	
	学校側による削除	×	0	0	
U	所属先	ユーザー自身	学校側	学校側	
	学校ドメインの使用	0	0	0	
	学外ドメインの使用	0	×	×	
	準備	不要	必要	必要	
ルが用政化	追加設備	不要	不要	場合によって必要	

Federated ID の 作 成・運用には、シングル サインオン構成に必要な 認証基盤が別途必要で す。サーバーシステム管 理者と連携しながら必要 な設備を準備しましょう。

ユーザーアクセスポリシーとユーザーグループの検討

●ユーザーアクセスポリシー

共有デバイスライセンスでは、ライセンス認証されたコンピューターを誰 が利用できるのか、Admin Console上で設定できます。

ユーザーアクセスポリシーでは以下の3つが設定できます。

- ・アクセス権を開く:ユーザー IDを持っている人であればID種別を問わ ず利用可能
- ・組織のユーザーのみ:Admin Consoleで登録したユーザー ID(ID種別 は問わず)のみ利用可能
- Enterprise ID/Federated IDのみ: Adobe IDでの利用不可。 学内のメンバーのみに利用を制限できる

●ユーザーグループの作成

ユーザー数が多い場合、学年やクラスに応じたグループ分けを行うと管理 しやすくなります。各グループにユーザーグループ管理者を設定できるの で、システム管理者の負担をほかの人に分散できます。

●管理者権限の違い

作業	システム管理者	ユーザーグループ管理者
ユーザーグループの作成	0	×
ユーザーグループの削除	0	△ (所有するグループのみ)
(Admin Consoleに登録されたユーザーの) ユーザーグループへの登録・削除	0	△ (所有するグループのみ)
ユーザーグループメンバーの表示	\bigcirc	△ (所有するグループのみ)
ユーザーグループのリストの表示	0	0

エグレスIPと関連マシン の設定

ユーザーアクセスポリシー以 外に、必要に応じてエグレス Pと関連マシンの設定も行いま す。詳細は、以下を参照して ください。

▼共有デバイスライセン スディプロイメントガイド

https://helpx.adobe.com/ jp/enterprise/using/sdldeployment-guide.html

COLUMN ユーザー管理用のCSVファイルを作成すれば一括で登録できる

ユーザーアクセスポリシーに基づいて Admin Console にユーザー IDを登録する場合、CSV ファイルを作成すれば一括で登録できます。ファイルの作成書式については、以下の Web ページを参照してください。

▼ユーザーの管理:CSVファイル形式

https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/using/users.html

STEP ● 03 デバイスライセンスからの移行

ライセンスのマイグレーション (移行)方法

ライセンス移行を開始する

A 移行作業を開始し て 30 日後に旧デバイスラ イセンスが無効になりま す。そのため、すべての 移行作業を 30 日以内に完 了するようにしましょう。

Admin Consoleの対応 ブラウザー

- Mac OS X:Safari 7.x、 Google Chrome、Firefox 4以降
- ・Windows 7:Internet Explorer 11、Google Chrome、Firefox 4 以降
- ・Windows 8:Internet Explorer 11、Google Chrome、Firefox 4 以降
- ・Windows 10:Internet Explorer 11、Google Chrome、Firefox 4 以降

Admin Consoleへの ログイン方法

以下のURLにアクセスしたあ と、管理者IDとパスワードを 入力して [ログイン] をクリッ クします。

▼Admin Console

https://adminconsole.adobe. com/ Admin Consoleを使えば、デバイスライセンスから共有デバイスライセン スに素早く移行できます。

	設定開始 ●	組織選択 ○	最終確認 ○			への利	テハュスラ 多行]の画	面が
重要:移行は取り消し	できません				A	された	<u> </u>	
移行を開始後30日が経 ことができませんので い。なお、移行前に現 <u>詳細はごちら</u>	過すると、現在のデパ 、開始前にシステム悪 在のデバイス展開情報	「イスライセンスは 評等をよくご確認 を書き出すことが	は機能が停止します。 3の上、準備が整って うできます。	. 移行を開始すると戻 てから開始してくださ	\$	注意	- 事項を確認 [:]	する
Creative Cloud コンプリー	トプランについて : 共	有デバイスライセン	ンス					
概要								
PC 教室など共有 PC でのき は新しい ID でのログイン 利点	ライセンス利用に最適 を選択することができ	ごす。アプリケージ ます。	ションを使用する際	、ユーザーには既存॥	Dまた			
 ユーザーはアドビアカウ PC 教室などの共有 PC で 管理者はライセンスをク 	コントで (小中高校サイ も Adobe XD をインス デループとして管理し、	トライセンスを除 トールして使用でき ユーザーアクセス	く) アセットとサー きます。 くを制御できます。	ビスにアクセスできま	е ў.	2 [次	(へ]を	
					Ň	クロッ	ク _	
				(キャンセル)	次へ		-	
∃織の種類を 表示された	を確認する	画面が	あら組織	C らかじめ設 歳の種類を	また。 定され を確認す	ている		
目織の種類を そ示された	を確認する	·画面が	の移行	らかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている -る		
1織の種類を そ 示された	と確認する から共有デバイス ^{窓注開始}	·画面が ニライセンスへ ^{組織選択}	あら 組編 の移行 ^{服鉄確認}	5かじめ設 職の種類な	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 表示された デバイスライセンス: BIBの種類を確認 BIBの種類を変更するには 	を確認する から共有デバイフ ^{設注開始} 。	画面が 3 5イセンスへ 組織選択 SMIN合わせくださ	あら 組縦 の移行 ^{風終確認} 3	5かじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 1000000000000000000000000000000000000	を確認する から共有デバイス ^{設定開始} 。	画面が 	あら 組縦 の移行 ^{最終確認} 3	<u></u> うかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている -る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 国協の種類を確認 目前の種類を確認 国等が背機関 	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ ・ 、アドビサポートには	画面が 	あら 組縦 の移行 	らかじめ設 職の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 組織の種類を確認 組織の種類を確認 高等教育機関 	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 3.5イセンスへ 1005国R う	あら 組縦 の移行 	らかじめ設 職の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 組織の種類を確認 組織の種類を確認 組織の種類を確認 	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 5-7イセンスへ 1885年R 9 5期い合わせくださ	あら 組縦 の移行 	<u></u> うかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を デバイスライセンス 1000種類を 1000種基 1000種類を	と確認する から共有デバイス ^{82元開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 5-7イセンスへ 1085年R ・ 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	あら 組縦 の移行 ^{最終確認} 3	<u></u> うかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている -る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 個価の種類を確認	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 57イセンスへ 1885年R ・ 5期い合わせくださ	あら 組縦 の移行 	<u></u> うかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 個価の種類を確認 単語の種類を確認 単語の種類を確認 	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 57イセンスへ 1885年R 9 5期い合わせくださ	あら 組縦 の移行 	<u></u> らかじめ設 識の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		
 1織の種類を 長示された デバイスライセンス 組織の種類を確認	と確認する から共有デバイス ^{設定開始} ・ ・ 、アドビサポートにa	画面が 57イセンスへ 1885年8 5 55 55 55 55 55 55 55 55 55	あら 組縦 の移行 	<u> らかじめ設</u> 識の種類を	定され を確認す	ている ⁻ る		

ライセンスのマイグレーション(移行)方法

ライセンス移行が完了した

移行後の作業について

既存のアプリケーションを再 インストールする必要はあり ませんが、デバイスライセン スの単体プランだった場合 は、ライセンスパッケージの 更新が必要です。続けて、次 のSTEP 04に進みます。 デバイスライセンスのコンプ リートプランだった場合は、 STEP 05へ進みます。

ライセンスパッケージの更新方法

[Creative Cloud Packager] をダウンロードする

ライセンスパッケージの 更新が必要になる場合

旧デバイスライセンスの単体 プランを契約していた場合 は、このSTEPを参考に、ラ イセンスパッケージを更新し ます。

単体プランに含まれ ていなかったアプリケー ションをパソコンに追加 したい場合は、次ページ の手順④の画面で[パッ ケージの作成]をクリッ クするか、STEP 05を参 考にパッケージを作成し ます。その場合、インス トーラーに新しいライセ ンス情報が含まれるため、 この STEP を行う必要はあ りません。

Admin Consoleにログインして、[パッケージ] タブを表示しておく

3 [保存] を	クリック				
利用条件 プライバシー Co	CCPLauncher.exe (2.7 MB) について行う操作を選んでください。 場所: ccmdls.adobe.com	実行	保存 へ	ระวชม ×	© 2019 Adobe. All rights reserv
					·
CPLaunch	er」 かダワンロートされた				
🗣 🖸 📙 🖛	管理 ダウンロード				
ファイル ホーム 共有	▼ 表示 アプリケーション ツール				
	РС » ダウンロ−ド				
📌 クイック アクセス	~今日 (1)				
OneDrive					
PC					
💣 ネットワーク	CCPL auncher				
	CCPEaulicher				

④ [CPLauncher]をダブルクリック

ライセンスパッケージを作成する

アプリケーションもイン ストールする場合

ライセンスとアプリケーショ ンをまとめてデプロイ(イン ストール)する場合は、手順 ④の画面で[パッケージの作 成]をクリックするか、STEP 05を参考にパッケージを作成 します。

ライセンスパッケージをビルド(作成)する

保存先について

手順②では、テキストボック スの右にあるアイコンをク リックして保存先を指定しま すが、テキストボックスに直 接入力することもできます。

ライセンスの種類について

手順③で選択するライセンス の種類は、[デバイスライセ ンス]です。

ビルドファイルの中身に ついて

ライセンスパッケージには、 次の4 つのファイルが含まれ ます。

- Adobe Serialization
- RemoveVolume Serial
- helper.bin
- prov.xml

ライセンスパッケージを展開する

●コマンドプロンプトを使って展開する

コマンドプロンプトを検索して[管理者として実行]をクリックし、起動しておく

● AdobeSerialization.exe ファイルを保存した フォルダーに移動

🔤 管理者: コマンドプロンプト

dicrosoft Windows [Version 10.0.18362.175] (c) 2019 Microsoft Corporation. All rights reserved.

C:¥WINDOWS¥system32>cd C:¥Users¥User¥Desktop¥Single to Complete

2 ビルドファイル内の[AdobeSerialization.exe]を コマンドプロンプトにドラッグ&ドロップ

③ [Enter] キーを押す

ライセンスファイルが展開される

●右クリックで展開する

2 [AdobeSerialization.exe] を右クリック

	管理 Single to 共有 表示 アブリケーション ツーノ	o Complete		- 0	× ~ (?)
$\leftarrow \rightarrow \cdot \uparrow$	> Single to Complete		🗸 ັບ Single to Comp	leteの検索	P
🕹 ካለካካ ምሳትን	名前	更新日時	種類	サイズ	
R (o)	AdobeSerialization	2018/07/07 14:18	アプリケーション	300 KB	
前(0)	helper.bin	2018/04/04 0:32	BIN ファイル	3,382 KB	
管理者として実行(A)	prov	2019/07/02 18:19	XML ドキュメント	284 KB	
互換性のトラブルシューティング(Y) スタートにビン留めする(P)	RemoveVolumeSerial	2018/07/07 14:18	アプリケーション	283 KB	
③「管理者として実行		スファイルが風	展開される]	

Mac での 展開 方法

ターミナルを起動した後、 管理者権限を使用して AdobeSerializationファイル を実行します。実行可能ファ イルの実行時にすべてのファ イルがあることを確認してく ださい。詳細は以下を参照し てください。

▼ライセンスファイルの利 用方法 (Creative Cloud | Mac OS)

https://helpx.adobe.com/ jp/creative-cloud/kb/ cq09210441.html STEP ● 05 移行後の設定と操作

ユーザーアクセスポリシー設定と パッケージの作成方法

ユーザーアクセスポリシーを設定する

COLUMN Enterprise IDとFederated IDの設定について

ユーザー IDとしてEnterprise IDまたはFederated IDを利用する場合は、このSTEPで紹介している「ユーザー アクセスポリシー」設定の前に、ディレクトリ作成やドメイン認証などの「ID」設定を行います。特に Federated IDにはシングルサインオン構成が必要となるため、詳細は以下を参照してください。

▼IDの設定

https://helpx.adobe.com/jp/enterprise/using/set-up-identity.html#Setup-domains

[権限] についての説明が表示された Creative Cloud コンプリートプラン (高等教育向け) - 共有デパイス > Default - Creative Cloud All Apps for HED - Shared Device O Default - Creative Cloud All Apps for HED - Shared Device 設定 使用済み MA 0 管理者 権限 Creative Cloud コンプリートプラン - 共有デバイス この機成のすべてのユーザーに適用されます ユーザーアクセスポリシー アクセス権を開く すべてのユーザーが Adobe アカウントでラボライセンス… **編集** 3[ユーザーアクセ 0件のアイテム 🚯 スポリシー]の[編集] エグレス IP コンピューターは、定義されたエグレス IP アドレスまた... 編集 関連マシン 特定の製品プロファイルに関連付けられていないすべて... - (i) 編集 をクリック [ユーザーアクセスポリシー] の ここでは、組織のユーザーの 設定画面が表示された み利用できるように設定する Default - Creative Cloud All Apps for HED - Shared Device の権限を編集する ユーザーアクセスポリシ O アクセス権を開く すべてのユーザーが Adobe アカウントでラボライセンスにアクセスできます。詳細はこちら エグレスIP ● 組織のユーザーのみ 関連マシン 組織に所属していた ハユーザーは、ラボライセンスを使用できません。詳細はこちら ○ Enterprise/Federated ID ユーザーのみ Adobe ID を使用したユーザーはラボライセンスを使用できません。 詳細はこちら (キャンセル)保存

エグレスIPと関連マシン の設定

ユーザーアクセスポリシー以 外に、必要に応じてエグレス IPと関連マシンの設定も行いま す。詳細は、以下を参照して ください。

▼ 共有デバイスライセン ス ディプロイメントガイド

https://helpx.adobe.com/ jp/enterprise/using/sdldeployment-guide.html

組織のユーザーの 追加方法

手順④で [組織のユーザーの み]を設定した場合、Admin Consoleの [設定] タブにあ る [ID] で、ユーザー IDを 登録する必要があります。

パッケージのライセンスオプションを設定する

⑤[保存]を

クリック

Admin Consoleにログインして、「パッケージ」 タブを表示しておく

④ [組織のユーザーのみ]を

クリック

パッケージをビルド(作成)する

OSロケールについて

[言語] にある [OSロケール を使用] は、デバイスのOS で設定されている言語に合わ せてアプリケーションをイン ストールできる機能です。デ フォルトでオンになっている ので、手順④の設定を忘れて も、使用言語のアプリケーショ ンが自動で設定されます。

アプリケーションの選択 について

すべてのアプリケーションを インストールする場合は、[+ すべて追加]をクリックします。 また、選択したアプリケーショ ンを変更したい場合は、[選 択されたアプリケーション] に表示されたアプリケーショ ン名の[X]をクリックします。

⑦ [次へ] をクリック

ライセンス認証 作成日

2019/07/02

共有デバイス

日本語

状眼

最新

Adobe テンプレート

ツール

環境設定

Q 18-32

Package01

パッケージ名 プラットフォーム アプリケーション 言語

Windows (64-bit)

(インストール) について アプリケーションを使用する デバイスでパッケージをダウ ンロードした後、パッケージ ファイルをダブルクリックし てデプロイ (インストール) します。初回のログイン時に ライセンス認証が行われ、共

有デバイスの固有IDと紐付

きます。

バッケージを作成

ダウンロード

マイグレーション (移行)計画 チェックシート

期限など	Admin Console へのユーザー登録
現契約の終了日: 年月日	Admin Consoleへのユーザー登録が <u>必要/不要</u>
シリアルの有効期限日: <u>年月日</u>	Admin Console でのユーザー管理に
ハードウェア、OSのCreative Cloud 2019への対応作業完了日:	□ CSV ファイルを利用
年_月日	□ User Sync Toolを利用
システム要件	ユーザーグループについて
Windows OS のバージョン対応	ユーザーグループを <u>作成する/作成しない</u>
□ 対応済み	※ユーザーグループを使う場合
□ 要アップデート	□ ユーザーグループの設計は <u>完了/未完</u>
□ 使っていない	ユーザー管理権限は他の管理者に移譲 する/しない
Mac OS のバージョン対応	パッケージオプションについて
□ 対応済み	ユーザーアクセスポリシーについて
□ 要アップデート	□ アクセスを開く
□ 使っていない	□ 組織のユーザーのみに設定
必要なメモリの対応	□ Enterprise ID / Federated IDのユーザーのみに設定
□ 対応済み	エグレスIPを <u>設定しない/設定する</u>
□ 要追加	設定値:
実行環境	ファイル同期は <u>無効/有効</u> にする
□ 対応済み	デプロイメント(インストール)について
□ 要検証	環境に応じたデプロイメント計画の立案は
ユーザー ID の種別	□ 作成済み
ユーザー ID がない学生について	□ 未対応
□ Adobe IDを利用	
□ Enterprise IDを利用	
□ Federated IDを利用	
それらのIDは	
□ 学生各自が作成	
□ 管理者が作成	